

Project Q 23

Young
Quartets'
Challenge
Schumann &
Brahms

主催：プロジェクトQ実行委員会

助成：（公財）朝日新聞文化財団／（公財）日本室内楽振興財団／（公財）野村財団

協力：学校法人東京音楽大学／（公財）日本音楽財団（（公財）日本財団助成事業）

制作：テレビマンユニオン

PROJECT

chapter

23

プロジェクトQ「第23章」若いカルテット、シューマン&ブラームスに挑戦する

『新しい道』 自作のピアノソナタ第1番を弾く青年ブラームスを前に、ロベルト・シューマンとその妻クララは大いに感嘆した。時は1853年、メンデルスゾーン（1809-1847）、ショパン（1810-1849）らの没後、この新たな才能との出会いに感激したシューマンは、自身の執筆する音楽誌「新音楽雑誌」に『新しい道』と題してブラームスを紹介する記事をいち早く掲載し世間に広めた。シューマン夫妻に芸術家として暖かく迎えられた当時20歳のブラームスは、シューマンの後押しを得てキャリアを重ねていく。作曲家・演奏家同士として、そして親しい友人としてシューマン一家と親交を深めていくも、翌年1854年にシューマンはライン川への投身自殺を図り、回復後、自ら望んでエンデニヒの精神病院に入院。1856年に帰らぬ人となる。第23章を迎える〈プロジェクトQ〉はロマン派を代表するこの二人の作曲家「シューマン&ブラームス」によるそれぞれ3曲の弦楽四重奏曲、全6曲をテーマに開催する。今年も公開マスタークラスに始まり、トライアル・コンサート、そして全曲演奏会という若いカルテットが半年間をかけてこれらの楽曲に取り組んでいく。若い6組のカルテットたちの『新しい道』の行く末を、ひとつのドキュメンタリーとして共に辿っていただきたい。

シューマン&ブラームス：弦楽四重奏曲全曲演奏会

2026年3月14日 土 ①13:00開演 ②18:00開演 | 会場◎TCMホール

東京音楽大学
中目黒・代官山キャンパス

チケット：各回2,000円（全席自由）／申し込み：teket

トライアル・コンサート | 2026年2月11日 水 祝 15:00開演 / 2月24日 火 15:00、19:00開演

会場◎TCMホール 東京音楽大学
中目黒・代官山キャンパス | 各公演入場料：100円以上（全席自由／前売なし／終演時払）

公益財団法人
朝日新聞文化財団

公益財団法人
日本室内楽振興財団

NOMURA 野村財団

TCM

日本音楽財団
NIPPON MUSIC FOUNDATION

ホームページ



ブラームス Bridgeman Images
シューマン Luisa Ricciarini / Bridgeman Images

PROJECT Q 23	Project Q 23	Young Quartets' Challenge Schumann & Brahms
	プロジェクトQ	第23章 若いカルテット、シューマン&ブラームスに挑戦する

プロジェクトQは、若いカルテットの発掘と育成を目的とした日本におけるカルテット振興運動です。参加する若いカルテットは、世界で活躍するカルテット奏者等による「公開マスタークラス」を受講し、本公演の前に「トライアル・コンサート」を体験した上で、「本公演」に臨むという3つのプログラムを通して約半年間で1つの作品に向き合います。これまでに、ベートーヴェン、バルトーク、シューマン、ブラームス、モーツァルト、ハイドン、メンデルスゾーン、ショスタコーヴィチなど弦楽四重奏の主要レパートリーをテーマに開催し続け、今回で23回目の開催となります。今回のテーマは、ロマン派の大家シューマンとブラームスです。それぞれが生み出した珠玉の3曲ずつ、全6曲を取り上げます。

本年度は、ヴィジョン弦楽四重奏団（独）、ミハル・カニユカ（捷）、原田幸一郎、原田禎夫、カルテット・アルモニコ、小栗まち絵、今井信子を講師に迎えた公開マスタークラスを実施してきました。そして2026年2月のトライアル・コンサートを経て3月14日の最終公演、シューマン&ブラームス：弦楽四重奏曲全曲演奏会でその成果を発表します。若いカルテットたちの挑戦に、どうぞご期待ください。

シューマン：弦楽四重奏曲全曲演奏会

2026年3月14日（土）13:00開演 | 会場：TCMホール（東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス）

ロベルト・シューマン (1810-1856) 作曲	つばみカルテット	弦楽四重奏曲 第1番 イ短調 作品41-1 (1842)
	ルシェリア・カルテット	弦楽四重奏曲 第2番 へ長調 作品41-2 (1842)
	カルテット・プリマヴェーラ	弦楽四重奏曲 第3番 イ長調 作品41-3 (1842)

ブラームス：弦楽四重奏曲全曲演奏会

2026年3月14日（土）18:00開演 | 会場：TCMホール（東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス）

ヨハネス・ブラームス (1833-1897) 作曲	カルテット風雅	弦楽四重奏曲 第1番 ハ短調 作品51-1 (1865-1873)
	カルテット・ルーチェ	弦楽四重奏曲 第2番 イ短調 作品51-2 (1873)
	ルーク・カルテット	弦楽四重奏曲 第3番 変ロ長調 作品67 (1875)

●チケット：各回2,000円（全席自由）



トライアル・コンサート

会場：TCMホール（東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス）

2026年2月11日（水・祝） 15:00	ルシェリア・カルテット	シューマン：弦楽四重奏曲 第2番 へ長調 作品41-2 (1842)
	ルーク・カルテット	ブラームス：弦楽四重奏曲 第3番 変ロ長調 作品67 (1875)
2026年2月24日（火） 15:00	つばみカルテット	シューマン：弦楽四重奏曲 第1番 イ短調 作品41-1 (1842)
	カルテット・ルーチェ	ブラームス：弦楽四重奏曲 第2番 イ短調 作品51-2 (1873)
2026年2月24日（火） 19:00	カルテット・プリマヴェーラ	シューマン：弦楽四重奏曲 第3番 イ長調 作品41-3 (1842)
	カルテット風雅	ブラームス：弦楽四重奏曲 第1番 ハ短調 作品51-1 (1865-1873)

●各日100円以上（全席自由／前売なし／終演時払）

アドヴァイザー 原田幸一郎	会場のご案内 
プロジェクトQ実行委員会 実行委員長：原田幸一郎 実行委員：今井信子 小栗まち絵 川崎雅夫 菅沼準二 原田禎夫	
交通のご案内 東京音楽大学（中目黒・代官山キャンパス） 東京都目黒区上目黒1-9-1 ・JR「恵比寿駅」より徒歩14分 ・東急東横線「中目黒駅」「代官山駅」より徒歩5分 ・地下鉄日比谷線「中目黒駅」より徒歩約5分	
プロジェクトQ実行委員会	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67 テレビマンユニオン内 TEL:03-6418-8617

PROFILES

つばみカルテット | Tsubomi Quartet

中川紗優梨／石塚万葉（ヴァイオリン） 有山志音（ヴィオラ） 田邊ゆり（チェロ）



2025年結成。東京藝術大学大学院修士1年在籍の4名による弦楽四重奏団。全員の名前に花の名を持つことから「つばみカルテット」と名付け、成長と発展を志して活動している。現在、山崎貴子、生田絵美に師事。

ルシェリア・カルテット | Le Cherien Quartet

大屋 雪／谷本沙綾（ヴァイオリン） 山之内真梨（ヴィオラ） 村上真璃南（チェロ）



2023年結成。プロジェクトQ・第21章、第22章に出演。メンバーは相愛高等学校及び桐朋学園大学在学、相愛大学卒業生、京都市立芸術大学卒業生。「ルシェリア」は、フランス語で Lien「絆、縁」Cheri「大切な人、愛する人」の複合語で、音楽を共に作り上げる仲間との絆、音楽を通して出逢えた人々とのご縁を大切にしたいという想いを込めて名付けた。岸邊百百雄、小栗まち絵、大谷玲子、上森祥平に師事。

カルテット・プリマヴェーラ | Quartet Primavera

石川未央／清水 咲（ヴァイオリン） 多湖桃子（ヴィオラ） 宮之原陽太（チェロ）



2021年にメンバー全員が桐朋学園大学在学中に結成。第13回秋吉台音楽コンクール第2位。ザルツブルク＝モーツァルト国際室内楽コンクール In Tokyo 2023第2位。国内外のアーティストと多数共演し、音楽祭などに出演している。プロジェクトQ・第20章、第21章、第22章に出演。これまで磯村和英、山崎伸子に師事。今回チェロは宮之原陽太が客演する。

カルテット風雅 | Quartet Fugue

落合真子／小西健太郎（ヴァイオリン） 川邊宗一郎（ヴィオラ） 松谷壮一郎（チェロ）



2023年結成。第13回秋吉台音楽コンクール、第5回宗次弦楽四重奏コンクール第1位。Festival Quartetto d'Archi（伊）、ゴスラー・ハルツ国際音楽祭（独）、Guadix Clásica（西）に出演。2024、25年度松尾學術振興財団より助成を受ける。プロジェクトQ・第22章に出演。サントリーホール室内楽アカデミー第8期フェロー。現在、山崎伸子、澤和樹、池田菊衛、磯村和英、原田幸一郎に師事。

カルテット・ルーチェ | Quartet Luce

渡辺紗蘭／中嶋美月（ヴァイオリン） 森 智明（ヴィオラ） 原田佳也（チェロ）



2021年に東京音楽大学付属高等学校に在学する4人により結成。現在は、東京音楽大学、桐朋学園大学出身の4人から成る。「ルーチェ」とはイタリア語で「光」。輝かしい音楽を奏でられるようにという意味を込めて名付けた。プロジェクトQ・第20章、第21章、第22章に参加。サントリーホール室内楽アカデミー第8期フェロー。これまでに、原田幸一郎、小栗まち絵に師事。10月、アブデル・ラーマン・エル＝バシャ（ピアノ）と共演。来る3月武蔵野市民文化会館で公演予定。

ルーク・カルテット | Luke Quartet

杉谷歩の佳／若生麻理奈（ヴァイオリン） 小西真璃花（ヴィオラ） 渡邊伶音（チェロ）



2024年桐朋女子高等学校音楽科に在学する4人により結成。「ルーク」はラテン語で「光をもたらす、光を運ぶ」という意。一人一人の個性が合わさり、光が差し込むような音楽を作り上げたいという想いを込めて名付けた。原田幸一郎、磯村和英、神谷美千子に師事。プロジェクトQ・第22章に参加。6月には桐朋学園第114回室内楽演奏会に出演した。